



大砂土中だより

はつ らつ
澗 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.9 令和7年1月10日号

未来への希望と今ある幸せ

校長 倉林 弥生

明けましておめでとうございます。2025年、令和7年を迎えました。初心を忘れることなく、また飛躍の年になるように新たに希望を抱きながら、充実した1年にしていきたいと思います。

保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も引き続き、本校への変わらぬ温かい御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

新年には「今年がよい年になりますように…」と誰もが明るい未来を願いますが、世界では戦争が起きている国があることや、また日本でも災害からの復興が思うように進まないなどの現状を知ると、心から明るい気持ちにはなれないと感じる瞬間もあります。しかし、未来を見据えると、現代の科学、技術、医療などの分野においては、その凄まじい発展に目を見張るものがあります。現時点では想像できないものが、今後当たり前のように私たちの生活の一部になる日もそんなに遠くはないでしょう。

現にスマートフォンを老若男女問わず、これだけの国民が持つことになるとは、数十年前に想像できた人は、どれくらいいたのでしょうか。おそらく一般的には、ほぼ皆無であったと思われます。

そのような現実を知ること、未来への展望や明るさが少しずつ増していくことを願っています。不安は決してなくならないと思いますが、それでも未来に希望を抱き、平穏を祈りながら、今を生きていることに感謝することが、何より大切なことなのだと思います。

いよいよ3学期を迎えました。そして今年度も残すところ、3カ月足らずとなりました。

3学期は、各学年のまとめの学期であり、新年度へ向けての心の準備期間でもあります。

1年生は、来月初旬に「川越校外学習」に出かけます。学校を離れて初めての集団活動です。集団としてのこの1年間の伸長が、あらゆる場面においての一人ひとりの行動に委ねられます。

2年生は、来月下旬に2泊3日の「館岩自然の教室」に出発します。「自然の教室」のねらいは、冬の大地の偉大さに触れながら、スキー実習での上達の喜びや楽しさを味わうとともに、集団生活を通して自覚と責任、思いやりや協力の大切さを学ぶことにあります。しっかりと事前学習に取り組み、集団として大きく成長できる、思い出に残る3日間にしてください。

3年生にとっては、義務教育最後の、そして中学校卒業後の進路を決定する大事な学期となります。今が一番の頑張りどころです。自分を信じて、未来を信じて、最後まで諦めずに前向きな姿勢を貫いてください。心から強く思う願いは、必ず花開きます。

寒さの厳しい折ですが、あとひと月も経つと暦の上では、立春を迎えます。この1年間が、生徒、保護者の皆様、地域の皆様、そして職員にとりまして、幸せな年となりますことをお祈り申し上げるとともに、校訓「澗刺と」が示すように活気ある教育活動をさらに推進してまいります。